

ケッティーのFX講座

第7回

フラッグトライアングルからの
エントリーパターン

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

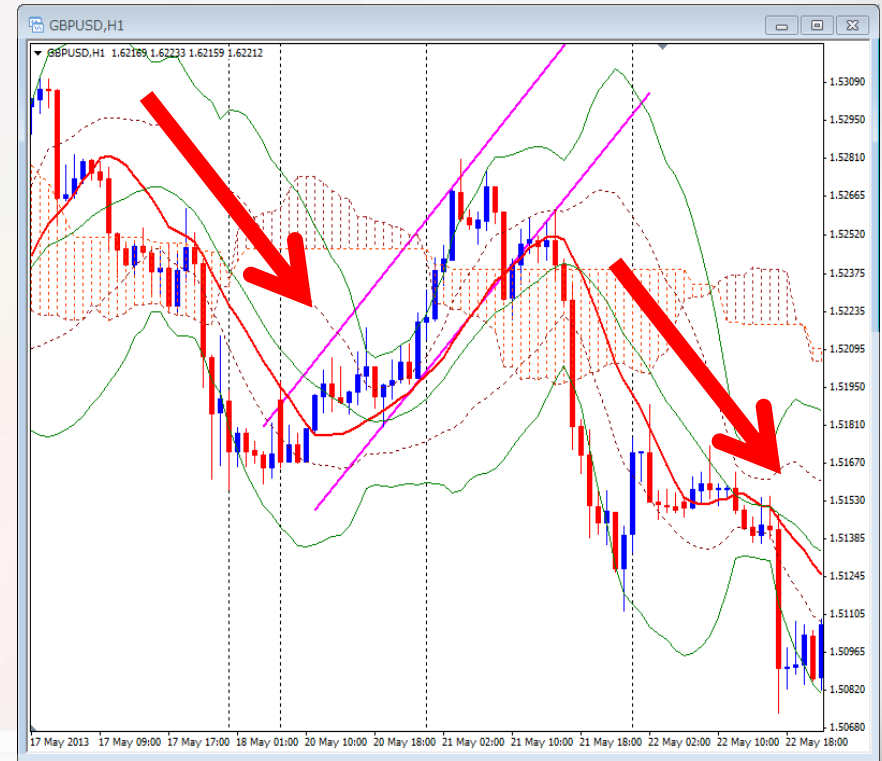
フラッグとは？

フラッグとは？

上昇または下降トレンドが発生している途中で、揉みあい（レンジ）を形成する時に現れる形を指します。BOX圏は上下の水平線内で揉みあい形成するレンジですが、フラッグは2本のトレンドラインで揉みあいを形成し、BOX圏に比べて戻しが深い揉みあいとなります。



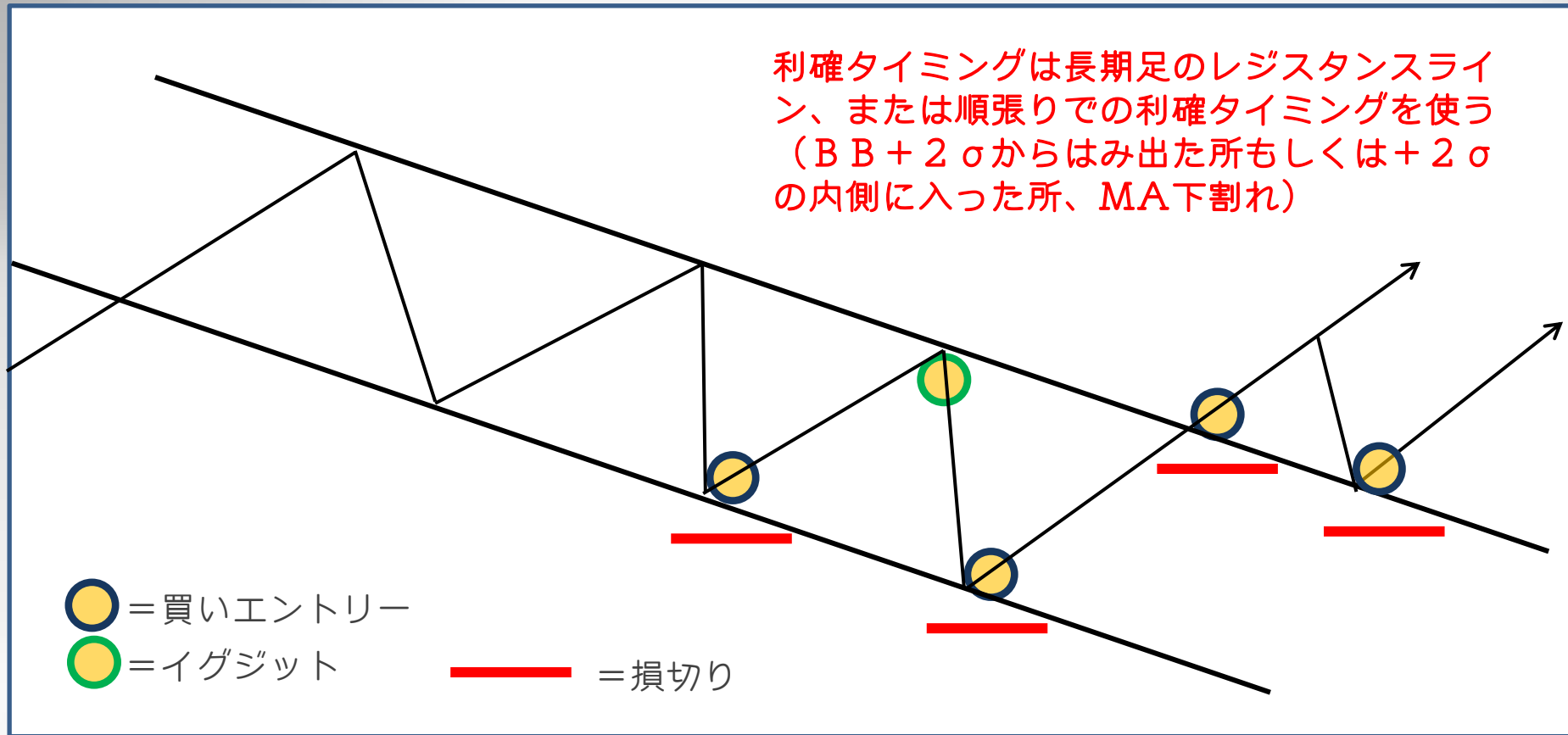
上昇フラッグ



下降フラッグ

上昇フラッグでのエントリーポイント、損切り、利確の置き方 エントリーシナリオの立て方

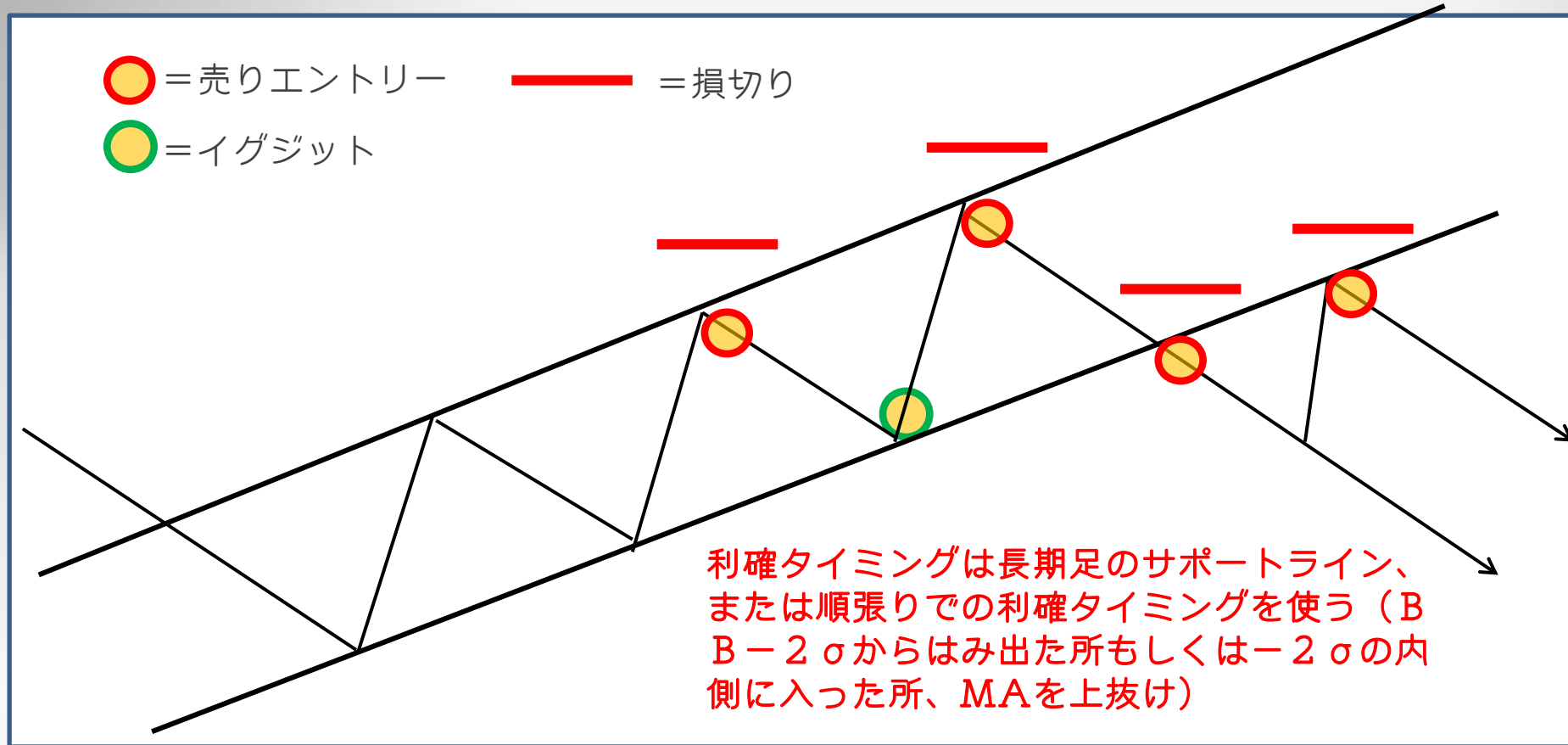
上昇フラッグ



- ・フラッグ下限からの買いエントリーをして、フラッグ上限で反発した時は一旦利確をして逃げるようにする。
- ・基本的にはトレンド継続のブレイクアウトを狙うので、フラッグ下限でのポジションを持ってブレイクした時はそのまま保有し、ブレイクアウトをしたらエントリーをする。

下降フラッグでのエントリーポイント、損切り、利確の置き方 エントリーシナリオの立て方

下降フラッグ

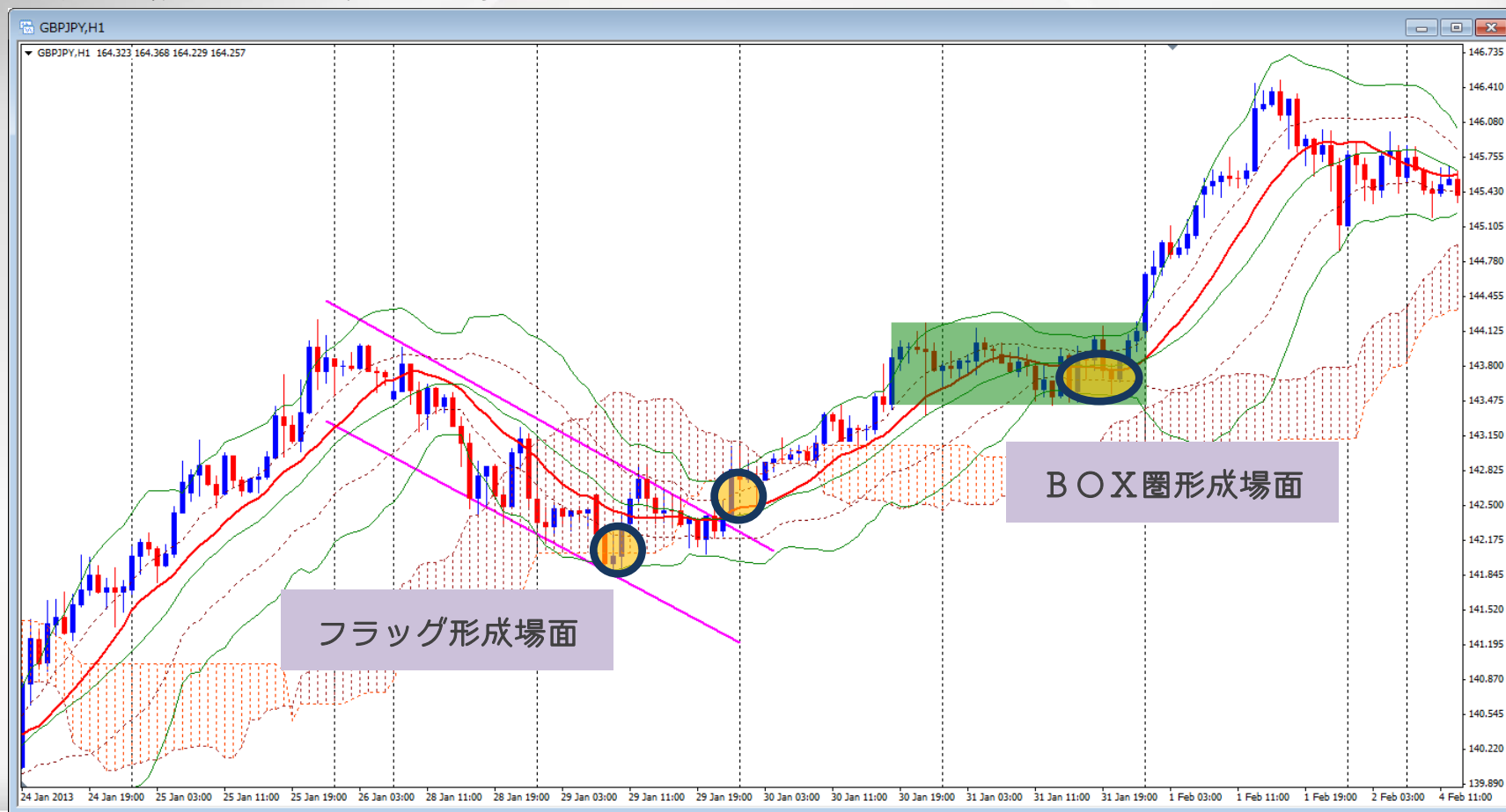


- ・ フラッグ上限からの売りエントリーをして、フラッグ下限で反発した時は一旦利確をして逃げるようにする。
- ・ 基本的にはトレンド継続のブレイクアウトを狙うので、フラッグ上限でのポジションを持ってブレイクした時はそのまま保有し、ブレイクアウトをしたらエントリーをする。

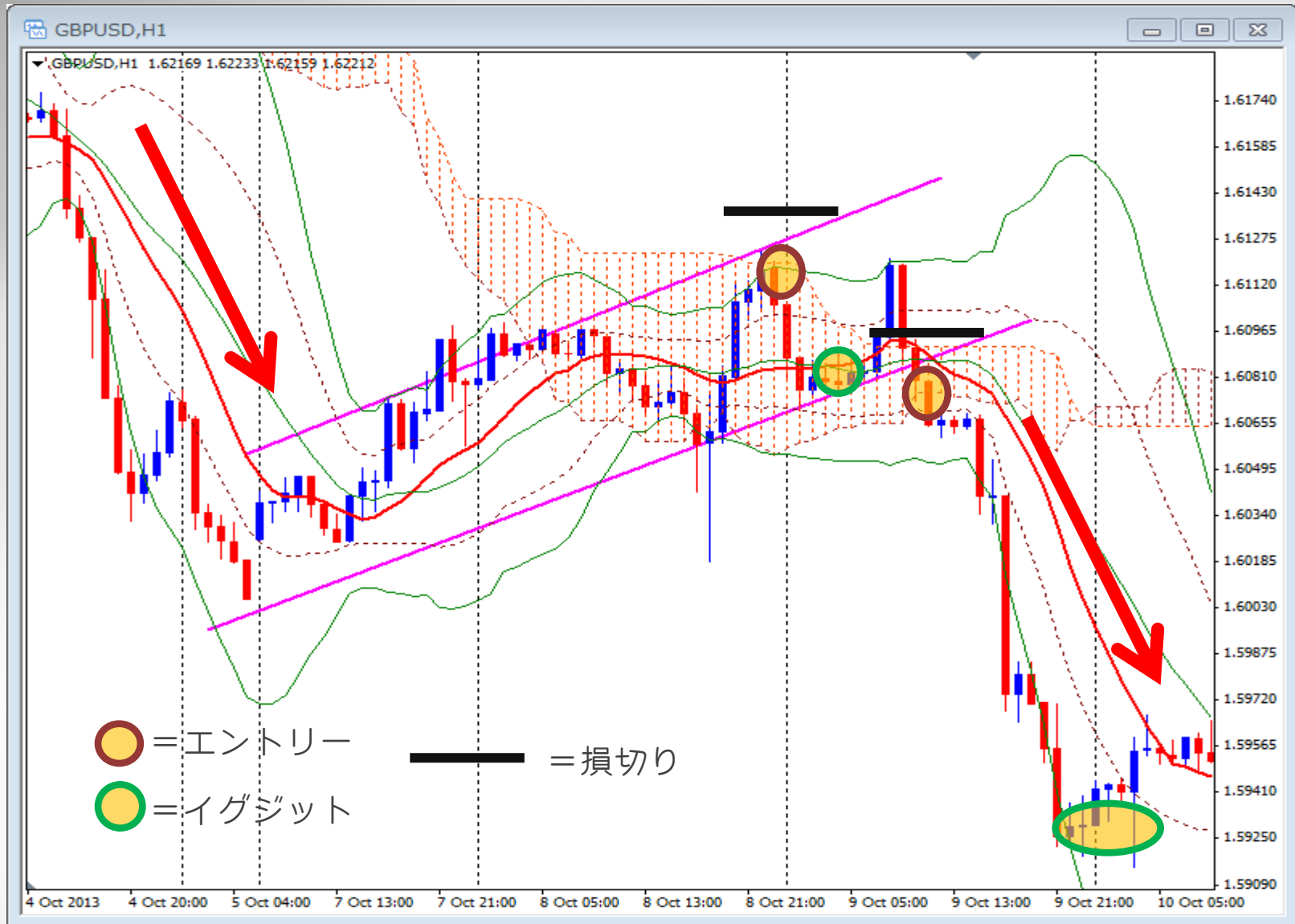
B O X圏とフラッグとの違い

B O X圏との比較

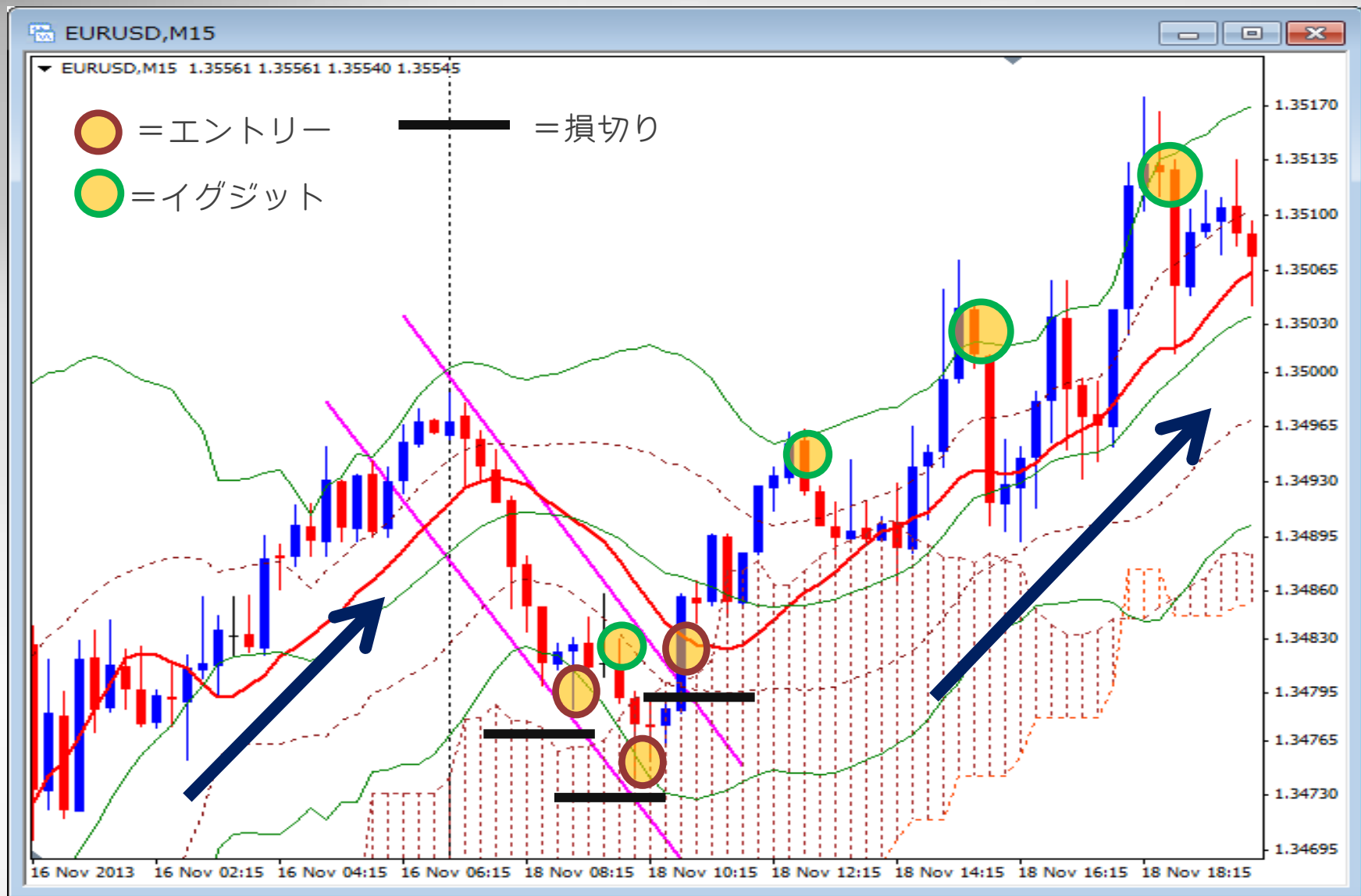
B O X圏ではトレンド転換の場合も想定してエントリーシナリオを立てるが、フラッグの場合は直近のトレンドの流れに逆らわないエントリーシナリオを立てるようになる。いわば、トレンド発生時の揉みあいの形状がB O X型ではなく、フラッグ型に形成される場面での仕掛ける手法となります。



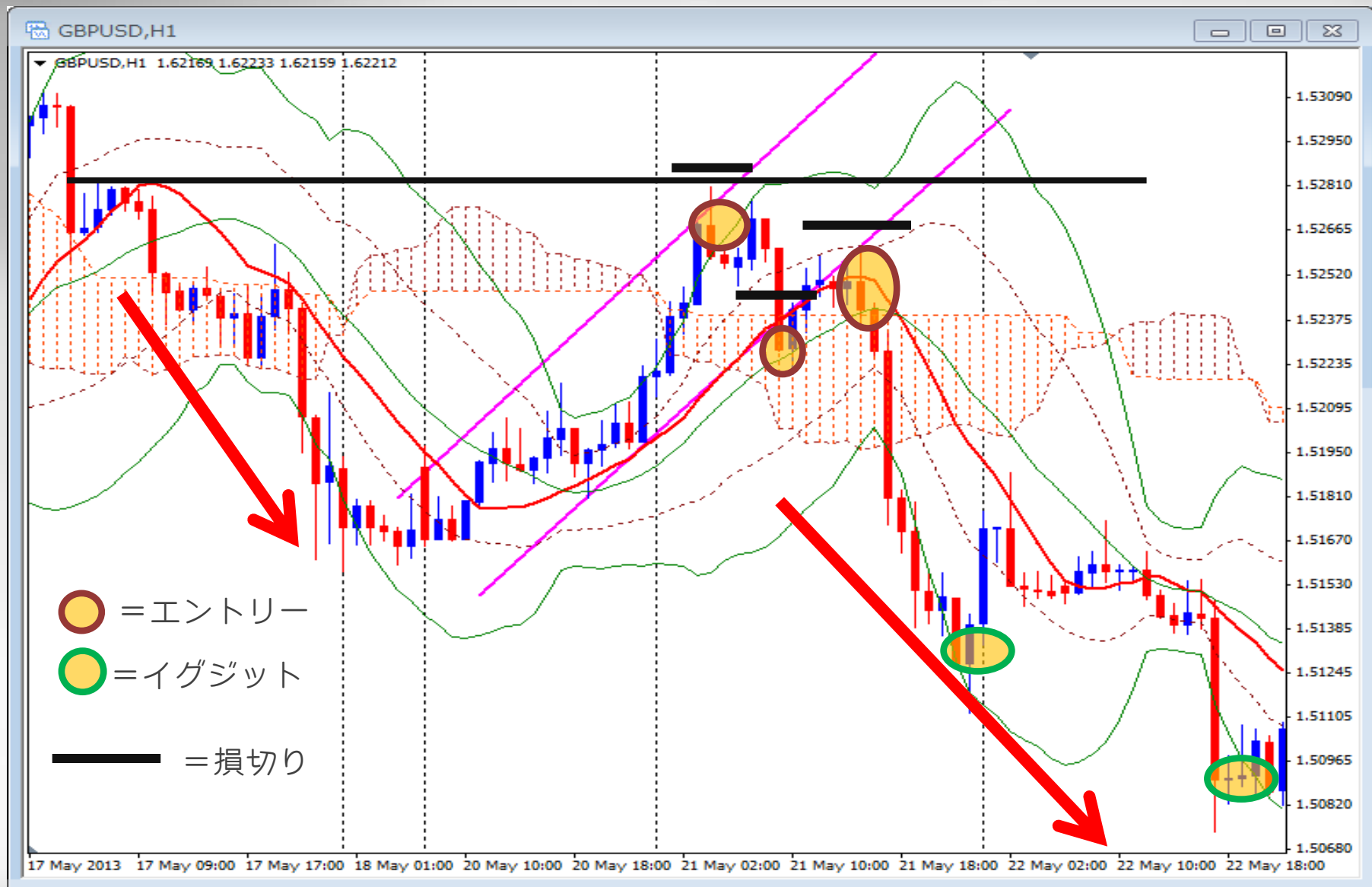
フラッグのエントリー例を見てみよう！①



フラッグのエントリー例を見てみよう！②



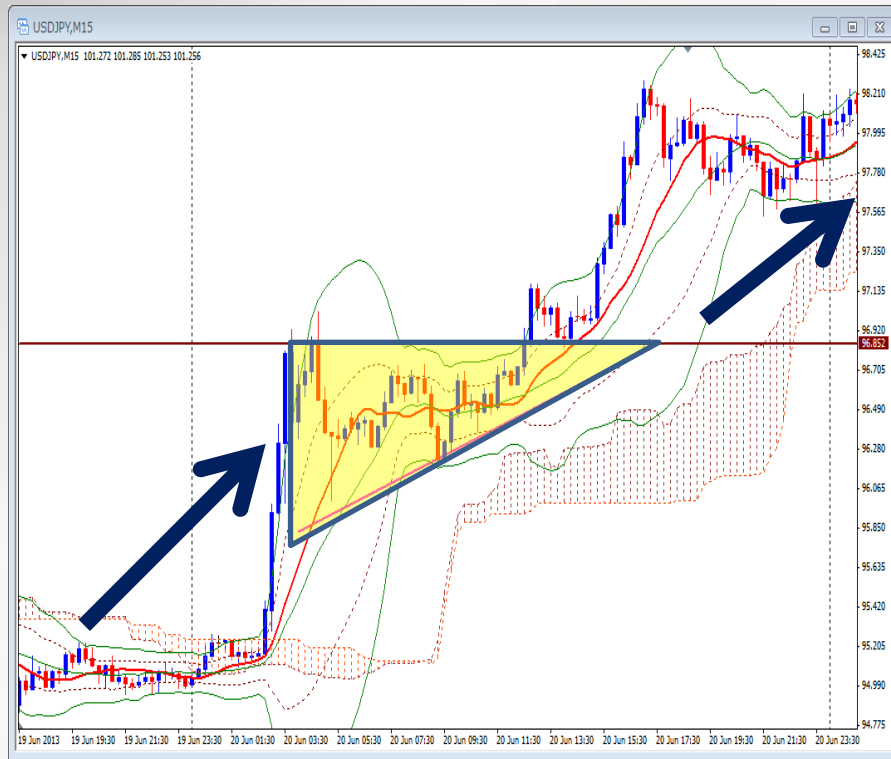
フラッグのエントリー例を見てみよう！③



トライアングルとは？

トライアングルとは？

水平線とトレンドラインを組み合わせる三角形に形成されるチャートパターン。
上昇トライアングルは高値が水平線で、安値が切りあがってトレンドラインを引くことができ、下降トライアングルは安値が水平線で、高値が切り下がってトレンドラインを引くことができる。



上昇トライアングル

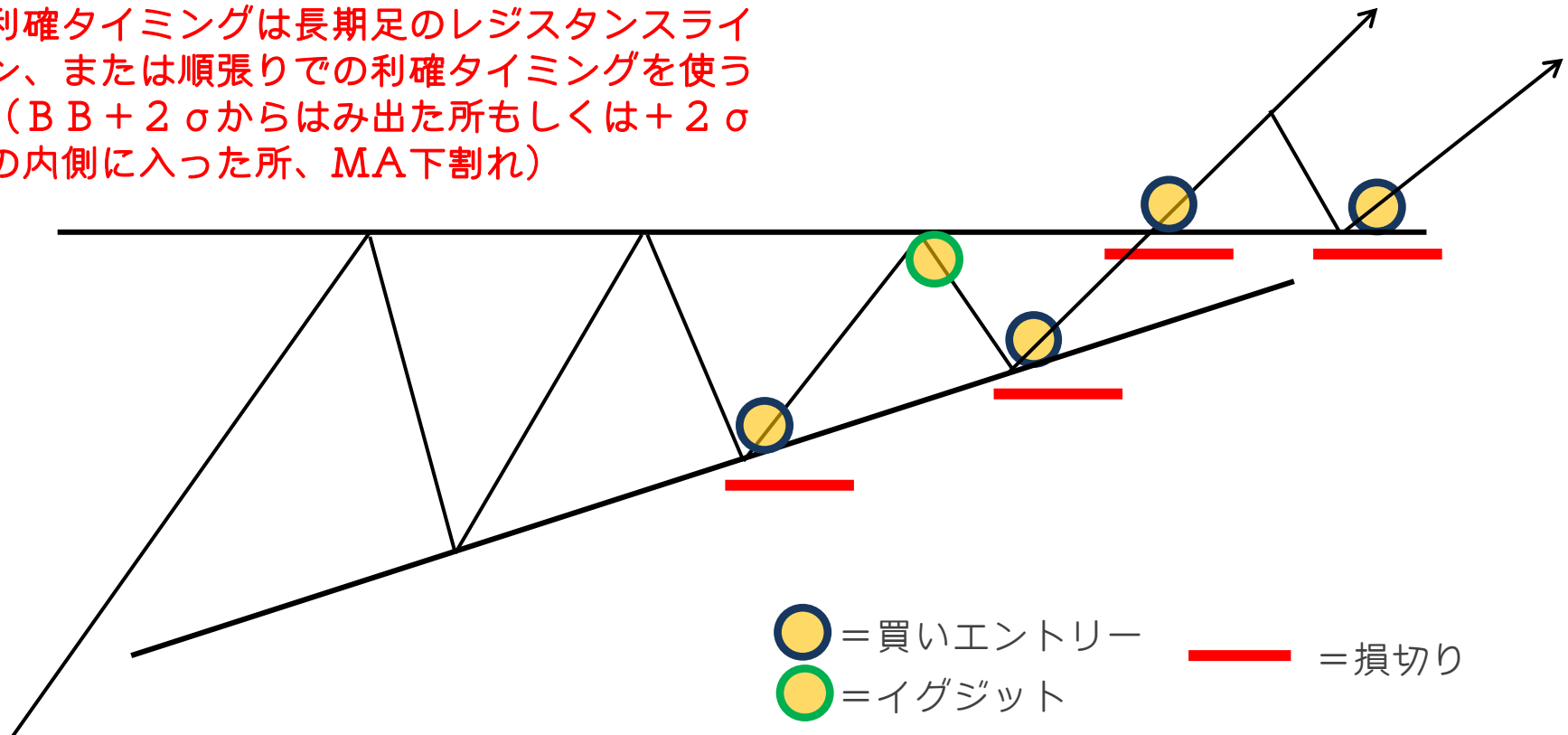


下降トライアングル

上昇トライアングルでのエントリーポイント、損切り、利確の置き方 エントリーシナリオの立て方

上昇トライアングル

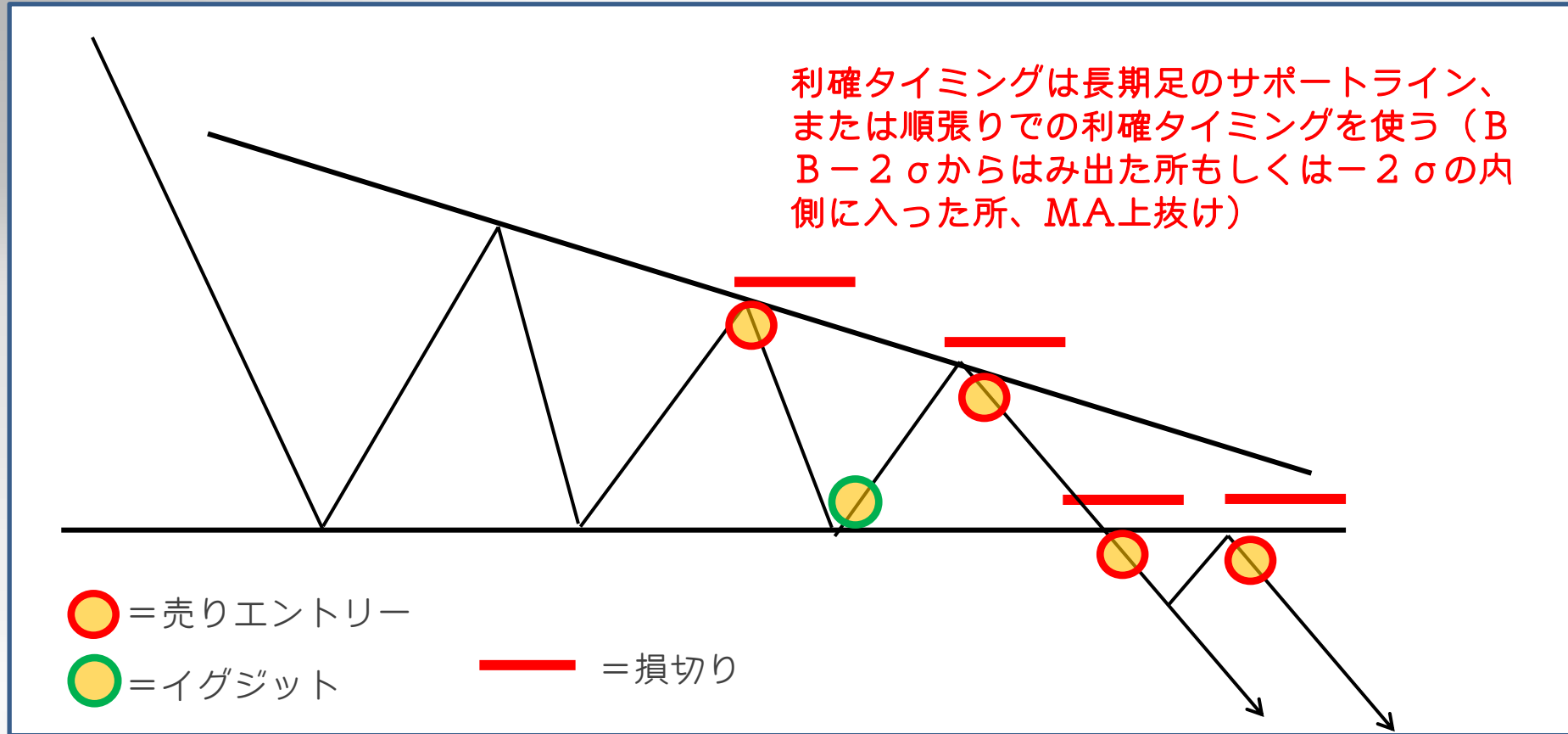
利確タイミングは長期足のレジスタンスライン、または順張りでの利確タイミングを使う
(BB + 2σからはみ出た所もしくは + 2σの内側に入った所、MA下割れ)



- ・トレンドライン下限からの買いエントリーをして、水平線上限で反発した時は一旦利確するか損切りを建値においてトレンドラインで反発するかを見極める。
- ・基本的にはトレンド継続のブレイクアウトを狙うので、トレンドライン下限でのポジションを持ってブレイクした時はそのまま保有し、ブレイクアウトをしたらエントリーをする。

下降トライアングルでのエントリーポイント、損切り、利確の置き方 エントリーシナリオの立て方

下降トライアングル

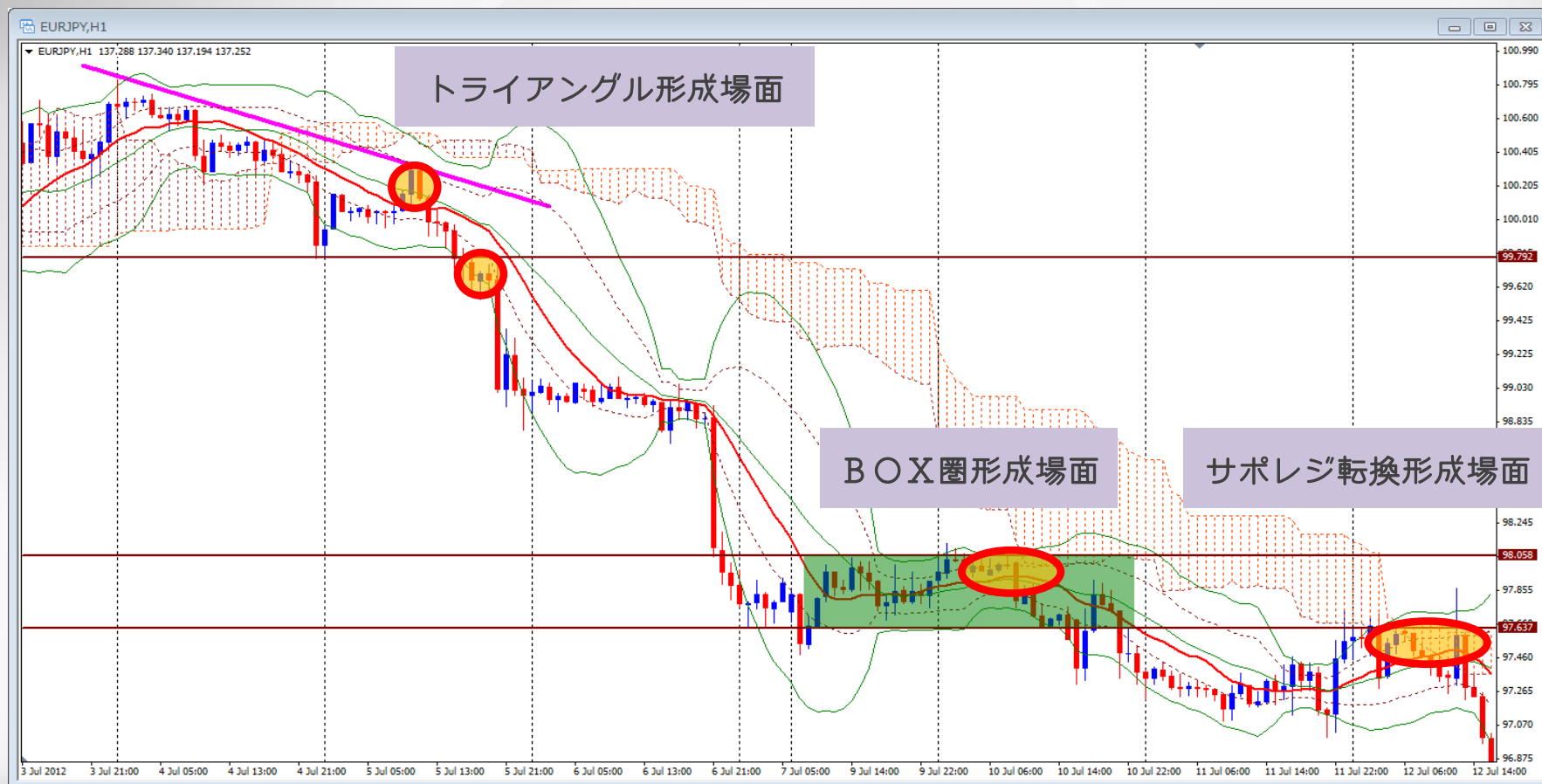


- ・トレンドライン上限からの売りエントリーをして、水平線下限で反発した時は一旦利確をするか損切りを建値においてトレンドラインで反発するかを見極める。
- ・基本的にはトレンド継続のブレイクアウトを狙うので、トレンドライン上限でのポジションを持ってブレイクした時はそのまま保有し、ブレイクアウトをしたらエントリーをする。

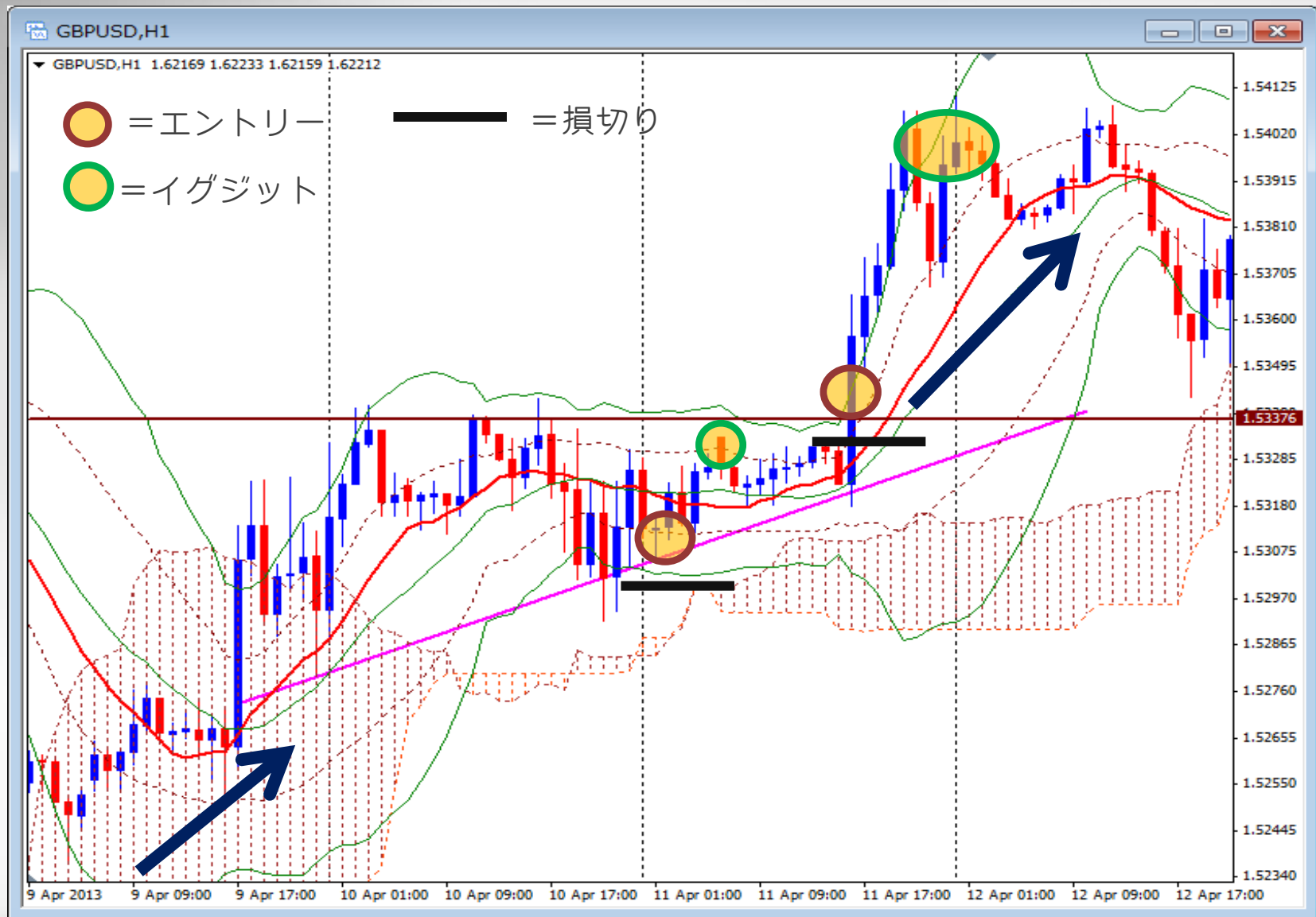
B O X圏とトライアングルとの違い

B O X圏との比較

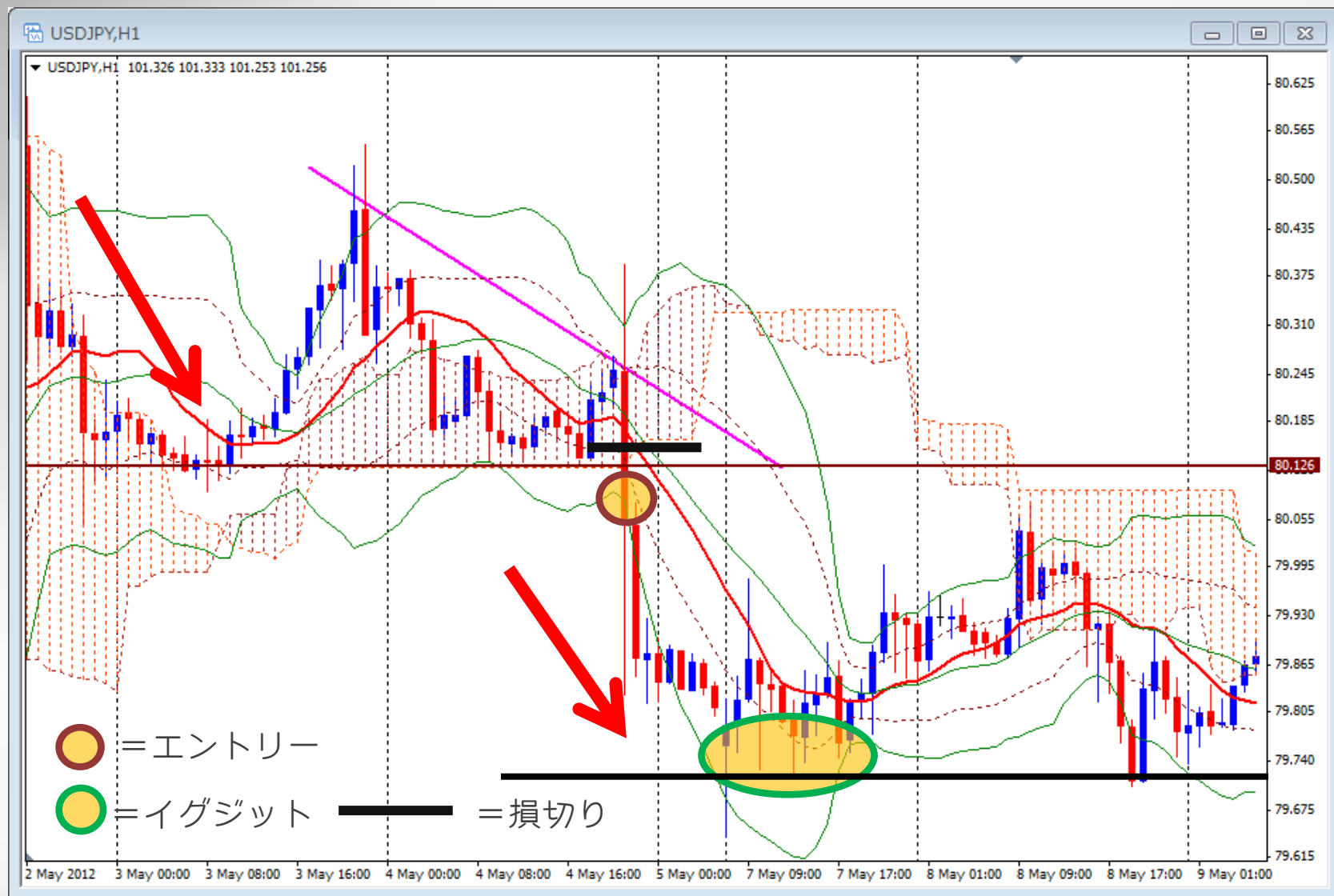
B O X圏ではトレンド転換の場合も想定してエントリーシナリオを立てるが、トライアングルの場合は直近のトレンドの流れに逆らわないエントリーシナリオを立てるようになる。いわば、トレンド発生時の揉みあいの形状がB O X型ではなく、三角形に形成される場面での仕掛ける手法となります。



トライアングルのエントリー例を見てみよう！①



トライアングルのエントリー例を見てみよう！②



トライアングルのエントリー例を見てみよう！③



フラッグとトライアングルからのエントリー手法が 有効に働く相場環境と注意点

- ①フラッグ及びトライアングルの手法が有効に働く場面はトレンド発生中の揉みあいの場面。
- ②直近の大きな流れに逆らわない順張り手法となるので、直近の流れをしっかり意識すること。
- ③BOX圏、フラッグ、トライアングルの3つは、①の場面でよく出現する。
- ④BOX圏では基本的には第2波狙いですが、フラッグ、トライアングルに関してはブレイクアウトの第1波で大きく伸びる事が多いので、勢いよくブレイクアウトをした際は第1波からエントリーする。但し、逆行して、すぐにライン内に戻ってきた場合は躊躇せず損切りすること。
- ⑤損切りの置く位置はラインの少し外側。エントリータイミングを計る時間足が長期足になる場合は損切り幅も広くなるので、ロットで調節する。
- ⑥トレンド発生中での揉みあい場面を活かした手法となる為、逆張りはないこと。

フラッグとトライアングルのパターンも覚えて、トレンド発生中の揉みあい相場でのエントリーを仕掛ける幅を広げていきましょう!!